

# METAL LATH

メタルラス



大信鋼業株式会社

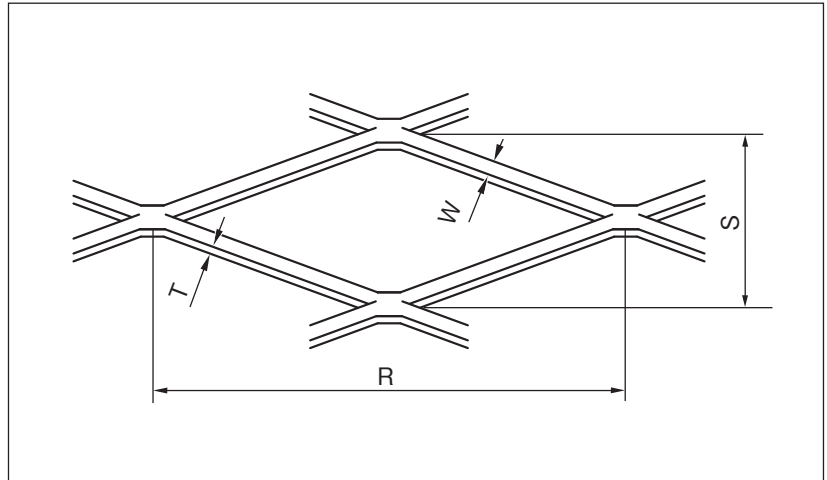
## 特 長

メタルラスは金属板を特殊な機械によって、千鳥状に切れ目を入れると同時に押し広げ、菱形の網目状に加工した製品です。

一般に亜鉛めっき鋼板を原板としますが、冷延鋼板やステンレス鋼板等高耐蝕性鋼板を原板として製造することも可能です。

- メタルラスは1枚の板から作られるので網目がもつれたりほどけたりしません。
- メッシュの立体的な形状により、モルタル中においてアンカー効果が大きく、モルタルの初期乾燥収縮ひびわれの抑制に役立ちます。
- 防火性能発揮のためのモルタルを壁面に固定する最重要部材です。

## 各部の名称と用語



S : メッシュの短目方向中心間距離

R : メッシュの長目方向中心間距離

T : 板厚

W : 刻み幅 (送り幅)

長さ : メッシュの長目方向外形寸法

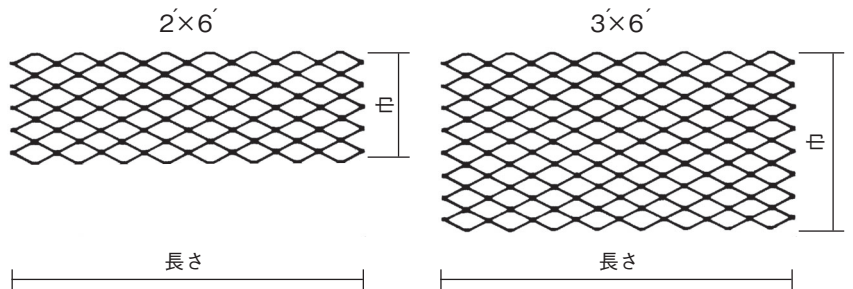
巾 : メッシュの短目方向外形寸法

P : 波形の山またはリブのピッチ寸法

H : 波形の山またはリブの高さ寸法

## 目 次

- 特長
  - 各部の名称と用語
- 形状例
- 平ラス、ワイドラス
- 波形ラス、リブラス
- メタルラス JIS A 5505
- 各種仕様書・指針・設計施工基準等
- 施 工
- 登録・認証
  - ご注文方法



尺 : 1 尺 = 304.8 mm (尺貫単位)

坪 : 1 坪 = 3.3 m<sup>2</sup> (尺貫単位)

匁 : 1 匁 = 3.75 g (尺貫単位)

6' = 1829 mm

3' = 914 mm

2' = 610 mm

メタルラスの寸法重量は、長く尺貫単位で表わされ、現在においても呼び方として通用している。

<標準寸法>

2×6' = 610×1829、3枚で1坪

3×6' = 914×1829、2枚で1坪

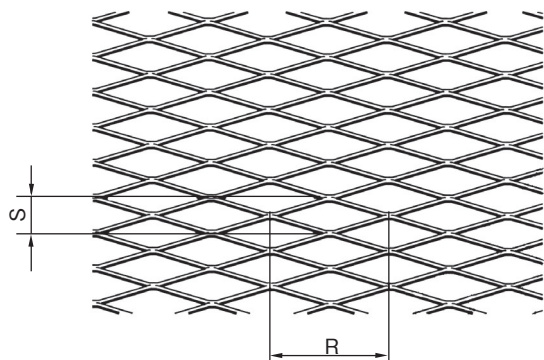
<呼び方と品番>

単位重量 500g/m<sup>2</sup>のメタルラスは坪当たり約 1700g となる。

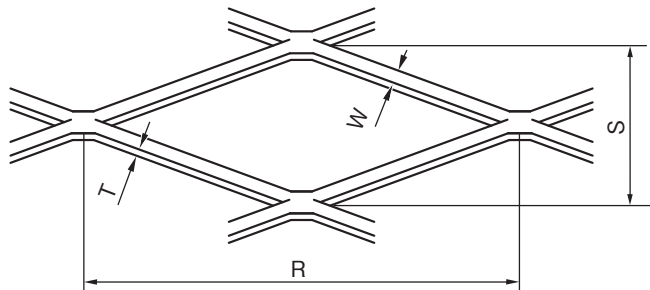
尺貫単位では 1700÷3.75=450(匁)で呼び方は「#450」となる。

JISにおいては単位重量(g/m<sup>2</sup>)による呼び方が規定されており「F500」となる。

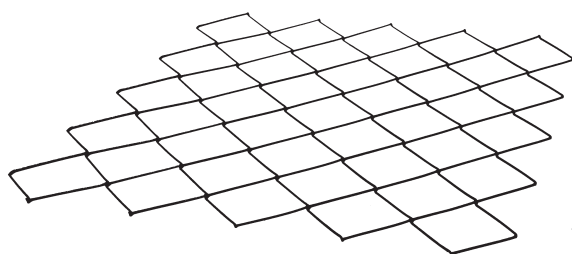
# 種類と形状



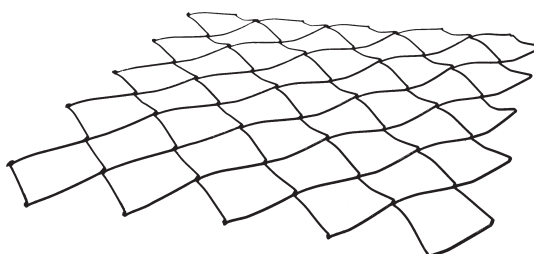
平ラスの形状



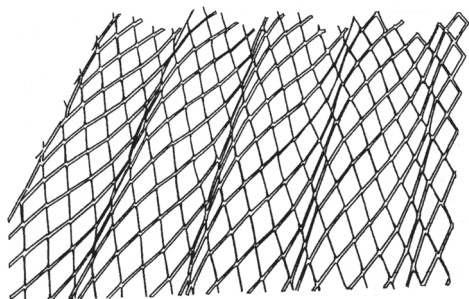
平ラスのメッシュ寸法



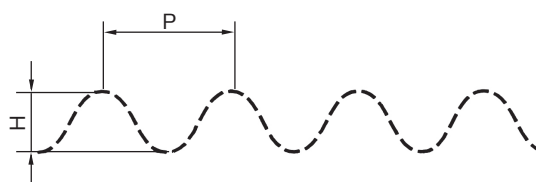
ワイドラス(平)の形状



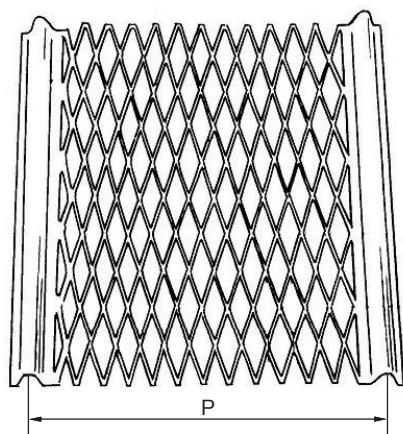
ワイドラス(波)の形状



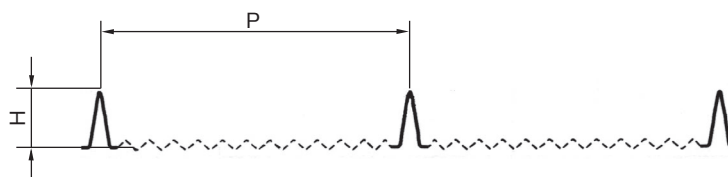
波形ラスの形状



波形ラスとワイドラス(波)の波形ピッチと高さ



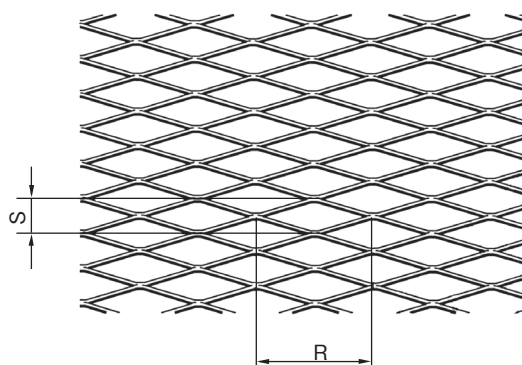
リブラス A の形状



リブラス A のリブピッチと高さ

# 平 ラ ス

ラス下地用に製造されたメタルラス

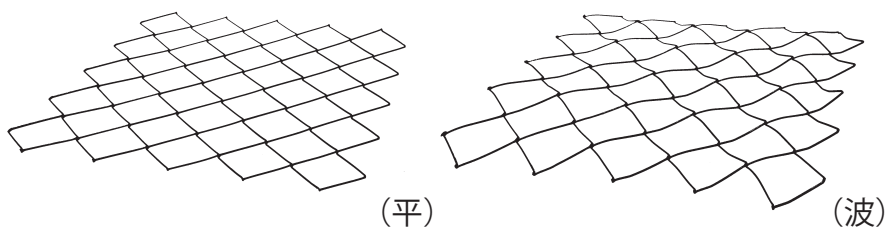


## 平ラス製品規格表

種類	呼び方 (通用)	呼び方 (旧JIS)	呼び方 (JIS)	標準製品寸法 (mm)						単位面積 当りの質量 (g/m <sup>2</sup> )	1坪当りの 質量(kg)	梱包単位 (坪)
				外形寸法		メッシュ寸法						
						I形 (関東目)		II形 (関西目)				
幅	長さ	R	S	R	S							
平 ラ ス	#240B	—	—	610	1829	25.4	14	31.75	16/19	240	0.79	25
	#240A	—	—	610	1829	25.4	14	31.75	16/19	270	0.90	25
	#270B	—	—	610	1829	25.4	14	31.75	16/19	290	0.96	25
	#270A	—	—	610	1829	25.4	14	31.75	16/19	300	1.00	25
	#300A	0号	—	610	1829	25.4	14	31.75	16/19	350	1.13	25
	#390B	—	—	610	1829	25.4	14	31.75	16/19	410	1.35	25
	#390A	1号	F450	610	1829	25.4	14	31.75	16/19	450	1.49	25
	#450B	—	—	610	1829	25.4	14	31.75	16/19	480	1.57	20
	#450A	2号	F500	610	1829	25.4	14	31.75	16/19	500	1.70	20
	#600A	3号	F700	610	1829	25.4	14	31.75	16/19	700	2.25	10
	#900A	4号	F1050	610	1829	25.4	14	31.75	16/19	1050	3.38	10

# ワイドラス

メッシュを広げて単位重量  
当りの力学性能を向上させた  
メタルラス

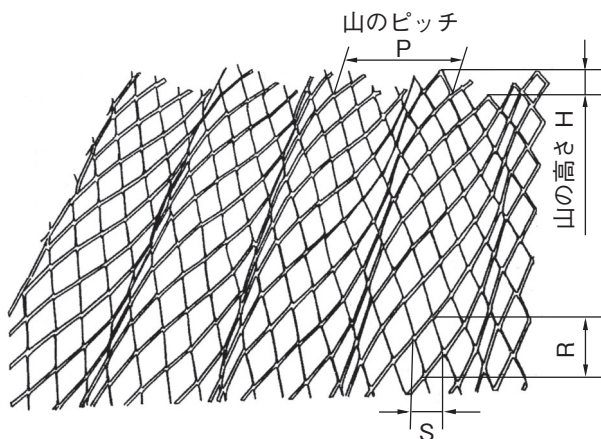


## ワイドラス製品規格表

種類	呼び方	標準製品寸法 (mm)						単位面積 当りの質量 (g/m <sup>2</sup> )	1坪当りの 質量(kg)	梱包単位 (坪)
		外形寸法		メッシュ寸法		ピッチ P	高さ H			
				R	S					
幅	長さ	R	S							
ワ イ ド ラ ス	#20 (平)	930	1829	50.8	34	—	—	210	0.70	25
	#20 (波)	930	1829	50.8	34	32.5	5	210	0.70	25
	#19 (平)	930	1829	50.8	34	—	—	300	1.00	25
	#19 (波)	930	1829	50.8	34	32.5	5	300	1.00	25
	#18 (平)	930	1829	50.8	34	—	—	480	1.60	20
	#18 (波)	930	1829	50.8	34	32.5	5	480	1.60	20

## 波 形 ラ ス

平ラスを一定方向に波形加工されたメタルラス

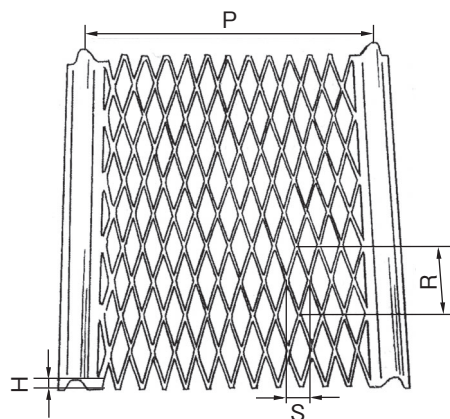


波形ラス製品規格表

種 類	呼び方 (旧JIS)	呼び方 (JIS)	標準製品寸法 (mm)								単位面積 当りの質量 (g/m <sup>2</sup> )	1坪当りの 質量(kg)	梱包単位 (坪)
			外形寸法		メッシュ寸法				ピッチ P	高さ H			
			幅	長さ	I形(関東目)		II形(関西目)						
				R	S	R	S						
波 形 ラ ス	—	W700-06	930	1829	25.4	14	31.75	16	31	6	700	2.25	10/5
	—	W700-08	930	1829	25.4	14	31.75	16	31	8	700	2.25	10/5
	1号	W700-10	930	1829	25.4	14	31.75	16	31	10	700	2.25	10/5
	—	W1050-06	930	1829	25.4	14	31.75	16	31	6	1050	3.38	10/5
	—	W1050-08	930	1829	25.4	14	31.75	16	31	8	1050	3.38	10/5
	2号	W1050-10	930	1829	25.4	14	31.75	16	31	10	1050	3.38	10/5

## リ ブ ラ ス

リブが付いたメタルラスで、平ラス製造時に素板部分を一定間隔で残し、残した素板部に同一面方向に山形加工されたメタルラス



リブラス製品規格表

種 類	呼び方 (通用)	呼び方 (旧JIS)	呼び方 (JIS)	標準製品寸法 (mm)						単位面積 当りの質量 (g/m <sup>2</sup> )	1坪当りの 質量(kg)	梱包単位 (坪)
				外形寸法		メッシュ寸法		ピッチ P	高さ H			
				幅	長さ	R	S					
リ ブ ラ ス A	# 31	—	—	610	1829	31.75	10	120	9	700~800	2.4~2.8	5
	# 30	—	—	610	1829	31.75	10	120	9	900	3.00	5
	# 28	1号	RA1400-09	610	1829	31.75	10	120	9	1400	4.62	5
	# 26	2号	RA1800-09	610	1829	31.75	10	120	9	1800	5.94	5
	# 24	3号	RA2100-09	610	1829	31.75	10	120	9	2100	6.93	5

# メタルラス JIS A 5505 (抜粋)

## 平ラス及び波形ラスの寸法、質量及び許容差

単位：mm

種類	呼び方	(参考) 旧呼び方	単位面積 当りの質量 (g/m <sup>2</sup> )	メッシュ寸法				外形寸法			ピッチ		高さ H
				I形		II形		幅	長さ	P1	P2		
				R	S	R	S						
平 ラ ス	F450	1号	450±14	26 ±3	13 ±3	32 ±3	16 ±3	600±50~ 1000±50 <sup>a)</sup>	1800 ±50 ~2000 ±50 <sup>a)</sup>	-	-	-	
	F500	2号	500±15										
	F700	3号	700±21										
	F1050	4号	1050 ±32										
波 形 ラ ス	W700-06	-	700±21	26 ±3	13 ±3	32 ±3	16 ±3	610 ±50	930 ±50	1839 ±50	33 ±10	6 <sup>+2</sup> <sub>-1</sub>	
	W700-08	-	700±21									8 <sup>+2</sup> <sub>-1</sub>	
	W700-10	1号	700±21									10 <sup>+2</sup> <sub>-1</sub>	
	W1050-06	-	1050 ±32									6 <sup>+2</sup> <sub>-1</sub>	
	W1050-08	-	1050 ±32									8 <sup>+2</sup> <sub>-1</sub>	
	W1050-10	2号	1050 ±32									10 <sup>+2</sup> <sub>-1</sub>	

注 a) ラスの幅及び長さは、受渡当事者間の協定による。

## ALCパネル用ラスの寸法、質量及び許容差

単位：mm

種類	呼び方	(参考) 旧呼び方	単位面積当りの 質量 (g/m <sup>2</sup> )	メッシュ寸法				外形寸法 (幅、長さ) <sup>a)</sup>
				I形		II形		
				R	S	R	S	
A L C パ ネ ル 用 ラ ス	ALC650		650 <sup>+35</sup> <sub>0</sub>	26±3	13±3	32±3	16±3	-
	ALC700	3号	700 <sup>+40</sup> <sub>0</sub>					
	ALC760		760 <sup>+45</sup> <sub>0</sub>					
	ALC800		800 <sup>+45</sup> <sub>0</sub>					
	ALC860		860 <sup>+50</sup> <sub>0</sub>					
	ALC940		940 <sup>+55</sup> <sub>0</sub>					
	ALC1050	4号	1050 <sup>+60</sup> <sub>0</sub>					

注 a) ラスの幅及び長さは、受渡当事者間の協定による。

## リブラスの寸法、質量及び許容差

単位：mm

種類	呼び方	(参考) 旧呼び方	単位面積当りの 質量 (g/m <sup>2</sup> )	高さ H	外形寸法			ピッチ P	参 考		
					幅	長さ	原板の 厚さ		メッシュ寸法		
									R	S	
リ ブ ラ ス A	RA1400-09	1号	1400±14	9 <sup>+2</sup> <sub>-1</sub>			120 ±10	0.4	26~32	10~16	
	RA1800-09	2号	1800±14	9 <sup>+2</sup> <sub>-1</sub>	610 ±50	910 ±50	1829 ±50	120 ±10			0.5
	RA2100-09	3号	2100±14	9 <sup>+2</sup> <sub>-1</sub>				120 ±10			0.6

## 外 観

メタルラスは、メッシュに目切れがなく、かつ、赤さびがあってはならない。

## 性 能

ラス下地用平ラス、波形ラス、リブラス A は、引張試験を実施したとき、メッシュ部の引張荷重に示す値に適合しなければならない。

### メタルラスのメッシュ部の引張荷重

単位：N

種類	呼 び 方	メッシュ部の引張荷重	耐蝕性試験後の引張荷重
平ラス <sup>a)</sup>	F 450	140 以上	110 以上
	F 500	150 以上	120 以上
	F 700	170 以上	130 以上
	F 1050	240 以上	190 以上
波形ラス <sup>b)</sup>	W 700	170 以上	130 以上
	W 1050	240 以上	190 以上
リブラス A	RA 1400	140 以上	110 以上
	RA 1800	150 以上	120 以上
	RA 2100	170 以上	130 以上

注 a) 平ラスのうち F450 は補強用とする。

なお、補強用とは、外壁の出隅・入隅部、開口部周りのモルタルのひび割れ抑制などに使用するものである。

b) 波形ラスのメッシュ部の引張強さ及び中性塩水噴霧試験後の引張強さは、二次加工前の平ラスの状態での試験数値を適用する。

## 材 料

メタルラスに用いる材料は、下記又はこれと同等以上の品質をもつものでなければならない。

種類	適用規格
ラス下地用平ラス こぶラス 波形ラス リブラス A	JIS G 3302 に規定する種類の記号 SGCC とし、めっきの付着量は、めっきの付着量表示記号 Z12 以上とする。ただし、リブラスCについてはZ08 以上とする。
ALC パネル用平ラス	JIS G 3141 に規定する種類の記号 SPCC 又はそれと同等若くは同等以上の機械的性質をもつものとする。

## 製品の呼び方

### 例 1 平ラス

I F 700 (3号) Z 12  
① ② ③ ④ ⑤ ⑥

- ①：メッシュ寸法記号 I 形の略称  
(I 形、R：26 mm ± 3 mm × S：13 mm ± 3 mm)
- ②：種類の記号 平ラスの称号
- ③：単位面積当りの質量 700 g/m<sup>2</sup> を表す。
- ④：旧呼び方
- ⑤：材料記号及び表面処理記号 溶融亜鉛めっき鋼板の略称
- ⑥：JIS G 3302 のめっき付着量

### 例 2 波形ラス

II W 1050 (2号) Z 12-08  
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

- ①：メッシュ寸法記号 II 形の略称  
(II 形、R：32 mm ± 3 mm × S：16 mm ± 3 mm)
- ②：種類の記号 波形ラスの称号
- ③：単位面積当りの質量 1050 g/m<sup>2</sup> を表す。
- ④：旧呼び方
- ⑤：材料記号及び表面処理記号 溶融亜鉛めっき鋼板の略称
- ⑥：JIS G 3302 のめっき付着量
- ⑦：波形の高さ 8mm を表す。

参考までに、直張りラスモルタル下地の各仕様書・基準・指針等の抜粋を記します。  
下記の詳細とそれ以外の工法につきましては、元資料を参照ください。

## ■建築工事標準仕様書・同解説 JASS15 左官工事2007、日本建築学会（抜粋）

防水紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JIS A 6005 アスファルトフェルト 430 または、改質アスファルトルーフィング以上または同等の性能を有するもの</li> <li>・ 下方から張付け、継ぎ目は 90mm 以上重ね合わせ、たるみ・しわが生じないように留める</li> <li>・ 開口部回りおよび軒天回りは、防水処理を十分に行う</li> </ul>
ラス下地板張り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ラス下地板 12mm×75mm を標準とする</li> <li>・ ラス下地板は、ステーブル 100mm 以内の留め付けに対して有効な間隔で取り付ける</li> </ul>
ラス下地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ラスは 700g/m<sup>2</sup>以上の異形ラス</li> <li>・ ステーブル 0.6×1.15×19mm (1019J) 以上</li> </ul>
ラス施工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ラスは千鳥張りを原則として 100mm 以内にステーブルで留め付け、ラスの重ねは 50mm 以上とし、開口部隅角部には継ぎ目を設けない</li> <li>・ 入隅や出隅部などの継ぎ目は突付けとし、補強用平ラスなどを中央部から 90 度に曲げて、下張りしたラスの上から張り重ねる</li> <li>・ また、開口部にも補強用平ラスを各コーナーに近づけて斜めに二重張りとする</li> </ul>

## ■木造住宅工事仕様書、独立行政法人住宅金融支援機構（抜粋）

防水紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JIS A 6005 アスファルトフェルト 430 または、改質アスファルトルーフィング以上または同等の性能を有するもの</li> <li>・ 防水紙は、継目を縦、横とも 90mm 以上重ね合わせ、留め付けはステーブルを用い、継目部分は約 300mm 間隔に、その他の箇所は要所に行い、たるみ、しわのないように張る</li> </ul>
ラス下地板張り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5 枚以下毎に乱継ぎ</li> </ul>
ラス下地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ラスは、JIS A 5505 に適合する 700g/m<sup>2</sup>の波形ラスや特殊ラス</li> <li>・ ステーブルは、JIS A 5556 に適合する、もしくは JASS M-105 に規定する 0.6×1.15×19mm (1019J) 以上、又はこれらと同等以上の性能を有するもの</li> <li>・ 力骨は、直径 2.6mm 以上の防錆処理された鋼線とする</li> </ul>
ラス施工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 波形ラスの継ぎ目は縦、横とも 30mm 以上重ね継ぐ</li> <li>・ ラスの留付けは、ステーブルで 100mm 以内に、ラスの浮き上がりたるみのないよう下地板に千鳥に打ち留める</li> <li>・ 出隅及び入隅などの継ぎ目は、突付けとし、200mm 幅の共材のラス（平ラス 1 号以上）を中央から 90°に折り曲げ、上から張り重ねる</li> <li>・ また、開口部には、20mm×100mm の共材のラス（平ラス 1 号以上）を各コーナーにできる限り近づけて、斜めに二重張りとする</li> </ul>

## ■木造軸組工法住宅 設計・施工技術指針、社団法人日本木造住宅産業協会（抜粋）

防水紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アスファルトフェルト 430 以上、防水紙の張方は縦張りとする</li> <li>・ 継ぎ目は縦横とも 90mm 以上重ね合わせ、開口部回りはサッシと防水紙を防水テープで補強</li> </ul>
ラス下地板張り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ラス下地板 12mm×90mm、継手は柱、間柱心で突付け、5 枚以下毎に乱継ぎ</li> <li>・ 釘は、板そば 30mm、日透かし張り、N50 釘 2 本平打ち</li> </ul>
ラス下地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 波形ラス (700g/m<sup>2</sup>以上)</li> <li>・ 又釘 1.56×25mm 以上またはタッカー釘（ステーブル）0.56×1.16×19mm 以上</li> <li>・ 力骨は直径 2.6 mm 以上</li> </ul>
ラス施工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ メタルラスは縦張りを原則とし、千鳥に配し、縦目は 30mm 以上</li> <li>・ 留付けは又釘 200mm 以内、タッカー釘（ステーブル）70mm 以内</li> <li>・ 入隅と出隅の継ぎ目は突付けとし、200mm 幅の平ラス（450g/m<sup>2</sup>以上）を 90°に折り張り重ねる</li> <li>・ 開口部は 200×100mm のラスをコーナーに近づけて斜めに二重張り</li> <li>・ ラスの継目、開口部回り、出隅、入隅などは力骨で押さえ、又釘にて 300mm 以内の間隔で留める ただし継目は 200mm 以内の間隔で留める</li> </ul>

## ■左官施工法、社団法人日本左官業組合連合会（抜粋）

防水紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JIS A 6005 アスファルトフェルト 430 または、改質アスファルトルーフィング以上または同等の性能を有するもの</li> <li>・ 継目を縦横とも 90mm 以上重ね合わせ、たるみ・しわが生じないように留める</li> <li>・ 継ぎ目部分は約 300mm 間隔に、その他の箇所は要所に行い、たるみ・しわのないように張る</li> <li>・ 開口部回りおよび軒天回りは、防水処理を十分に行う</li> <li>・ 開口部の窓台に先貼り、サッシ、壁貫通孔等の周囲は防水テープを用いて防水紙を密着させる</li> </ul>
ラス下地板張り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ラス下地板 12mm×75mm を標準とする</li> </ul>
ラス下地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ラスは 700g/m<sup>2</sup>以上の異形ラスである波形ラス</li> <li>・ ステーブルは JASS15 M-105 に規定する 0.6×1.15×19mm (1019J) 以上</li> </ul>
ラス施工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ラスは千鳥張りを原則として 100mm 以内に等間隔とし、1019 J と同等以上のエアステーブルで留め付け、斜め張りは行わない</li> <li>・ ラスの重ねは 50mm 以上とし、開口部の隅角部には継ぎ目を設けない</li> <li>・ 入隅や出隅部などの継ぎ目は突付けとし、補強用平ラス 1 号（450g/m<sup>2</sup>以上）等を中央部から 90 度に曲げて、下張りしたラスの上から張り重ねる</li> <li>・ また、開口部にも共材（平ラス 1 号以上）を各コーナーに近づけて斜めに二重張りとする</li> </ul>



# ・ 設計施工基準等

参考までに、直張りラスモルタル下地の住宅瑕疵担保責任保険・設計施工基準の抜粋を記します。  
 下記の詳細とそれ以外の工法につきましては、元資料を参照ください。

## ■住宅瑕疵担保責任保険・設計施工基準、日本住宅保証株式会社ほか（抜粋）

防水紙	・ JIS A 6005 アスファルトフェルト 430 または、改質アスファルトルーフィング以上または同等の性能を有するもの ・ 防水紙の重ね合わせは、縦、横とも 90mm 以上とする ・ 外壁開口部の周囲(サッシその他の壁貫通口などの周囲)は、防水テープを用い防水紙を密着させることとする
ラス下地板張り	・ ラス下地板
ラス下地	・ ラスは平ラスを除く
ラス施工	・ ラス網の重ね継ぎ幅は 30mm 以上とする

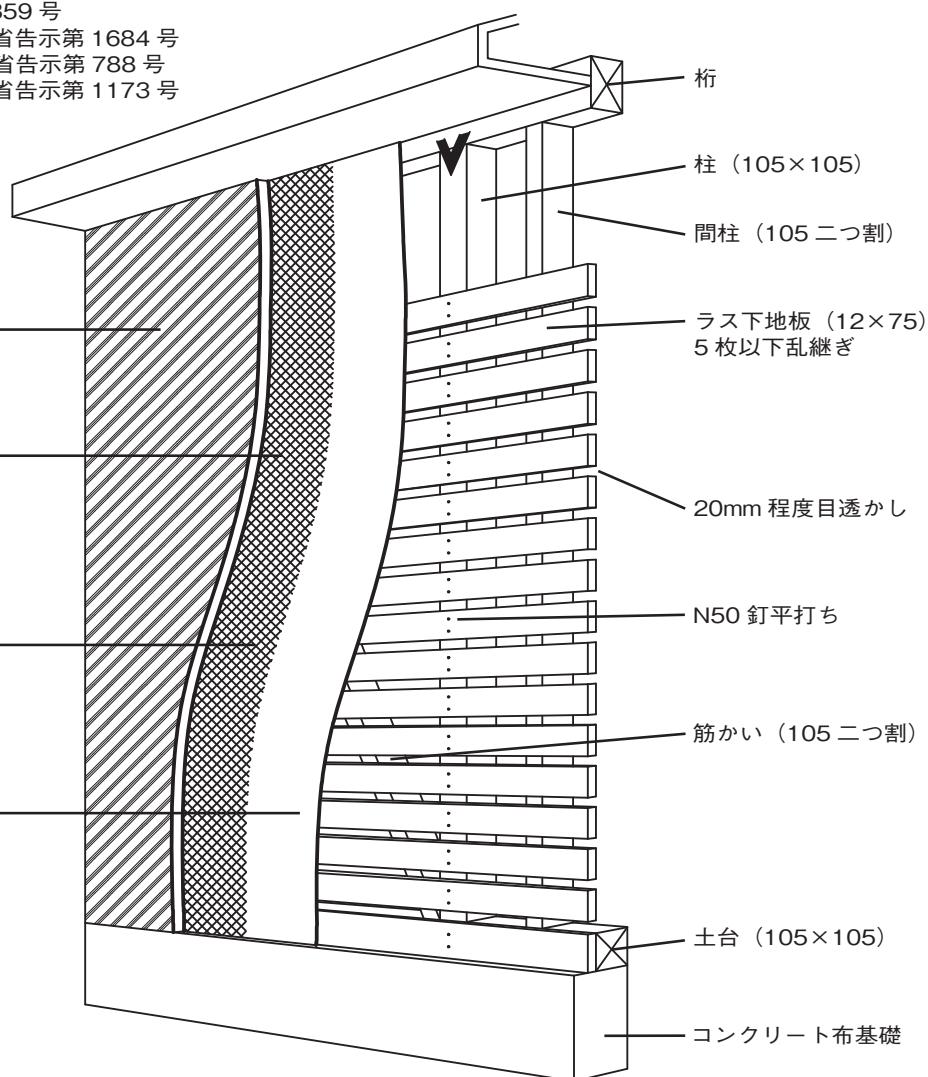
建築基準法施行例 第 108 条 防火構造  
 平成 12 年 5 月 24 日 建設省告示第 1359 号  
 改正 平成 13 年 12 月 5 日 国土交通省告示第 1684 号  
 改正 平成 16 年 7 月 7 日 国土交通省告示第 788 号  
 改正 平成 16 年 9 月 29 日 国土交通省告示第 1173 号

ラス下地用  
 調査軽量モルタル  
 JASS15 M-102  
 塗り厚 16mm (準耐火 45 分)  
 塗り厚 17mm (準耐火 1 時間)  
 普通モルタル  
 塗り厚 15mm 以上  
 (間柱及び下地を不燃材料)  
 塗り厚 20mm 以上  
 (間柱及び下地を不燃材料以外の材料)

JASS15 M-105 ステープル  
 1019 J 100mm 以内に千鳥打ち

メタルラス JIS A 5505  
 波形ラス (700g/m<sup>2</sup>)

JIS A 6005 アスファルト  
 フェルト 430 または、  
 改質アスファルト  
 ルーフィング以上または  
 同等の性能を有するもの

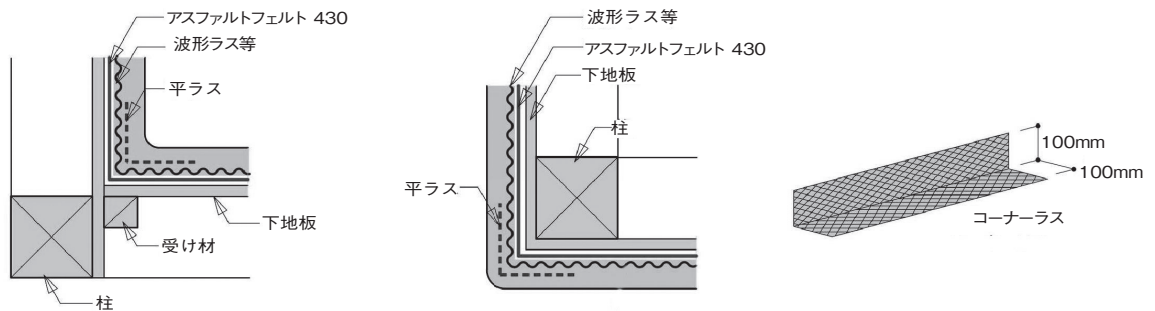
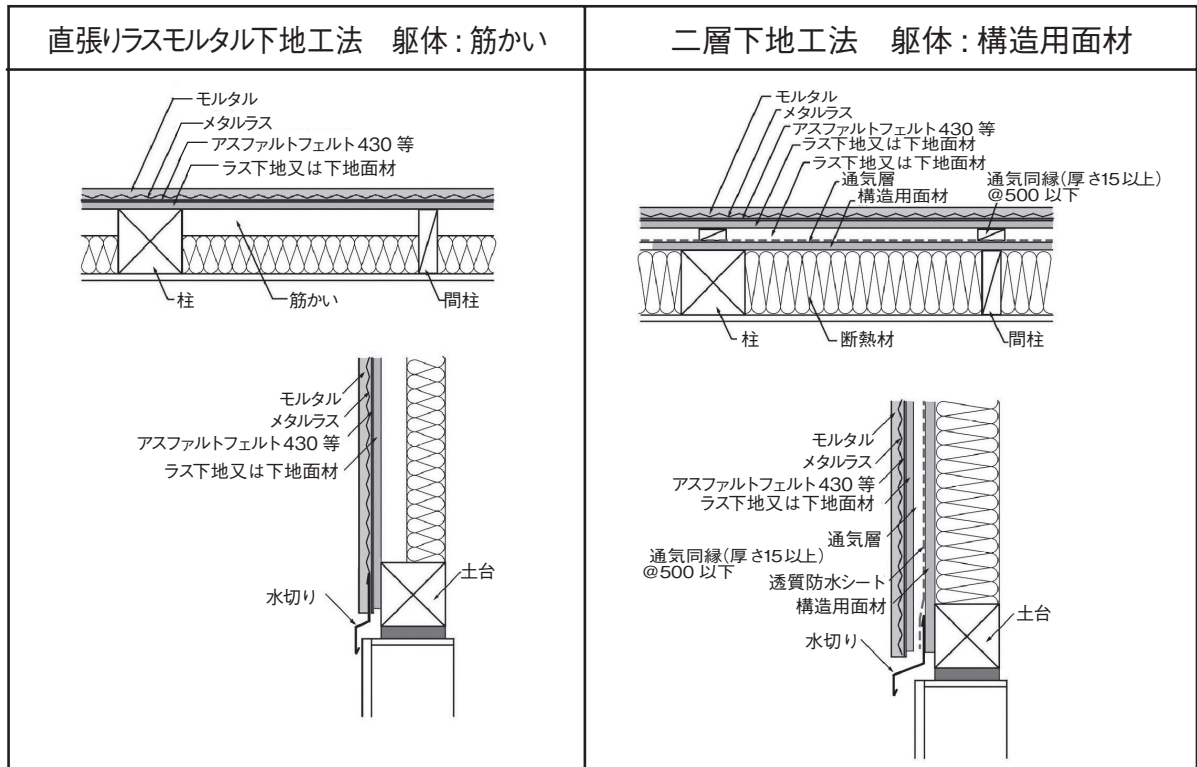


直張りラスモルタル下地の構成図例

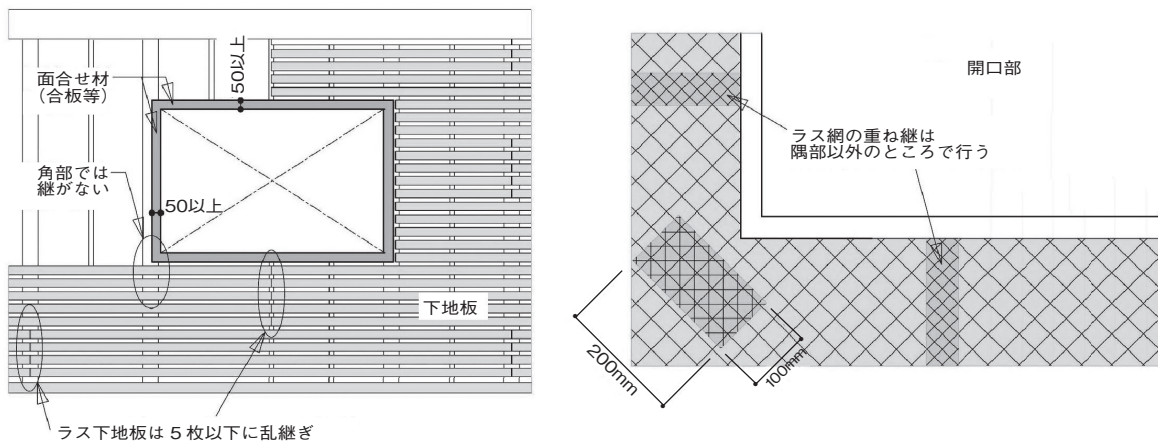
## ■参考資料

1. 建築工事標準仕様書・同解説 JASS15 左官工事 2007、日本建築学会
2. 木造住宅工事仕様書、独立行政法人住宅金融支援機構
3. 住宅瑕疵担保責任保険・設計施工基準、日本住宅保証株式会社ほか
4. 木造軸組工法住宅 設計・施工技術指針、社団法人日本木造住宅産業協会
5. 雨仕舞ディテール、社団法人日本木造住宅産業協会
6. 左官施工法、社団法人日本左官業組合連合会

# 施 工



モルタル塗りの出隅・入隅部の補強例



ラス網の張り方・補強例

## 登録・認証

### 認 証 書

(認証番号) GB0508086


大信鋼業株式会社  
代表取締役 田中 宏 殿  
大阪府大阪市西区立売堀一丁目13番1号

工業標準化法第19条第1項の規定により日本工業規格の表示について下記のとおり認証します。

記

1. 鉱工業品の名称 : メタルラス
2. JIS規格番号、名称及び JIS A 5505 メタルラス  
JISの種類又は等級
3. 認証の区分 : 同上
4. 工場の名称及び所在地 : 大信鋼業株式会社 猪名川工場  
兵庫県川辺郡猪名川町鎌倉南山4番1

(認 証 日) 平成20年7月9日  
(再発行日) 平成26年11月19日



大阪府吹田市藤白台五丁目8番1号  
一般財団法人 日本建築総合試験所  
理事長 辻 文

## ご注文方法

ご照会、ご注文にあたっては、次の項目をご指示ください。

1. 種類
2. 品番（呼び方）
3. 材質
4. 製品寸法（幅×長さ）
5. 数量（枚数、坪数）
6. お届け先
7. 納期

### ● 特 品

カタログに記載のない特殊メッシュや特殊寸法・形状、特殊材質の製品についても供給可能です。

例) コーナークラスや高耐蝕性鋼板を原材料としたものなど

### ● 梱 包

代表的な梱包は次の通りです。

1. 裸梱包   バンド掛け、  
              エッジプロテクター付き
2. 紙梱包   紙巻き、バンド掛け、  
              エッジプロテクター付き
3. 金属梱包 鉄薄板巻き、バンド掛け、  
              エッジプロテクター付き

必要な場合は事前にご相談ください。

### ● 表 示



製品本体、製品に添付するラベル、荷札、製品の梱包のいずれかには次の事項を見やすい位置に表示します。

また、送り状にも同様の表示を行います。

- a) 規格番号または規格名称
- b) 製品の品番（呼び方）
- c) 1 梱包の製品数量
- d) 製造年月または略号
- e) 製造業者名またはその略号

### ISO 9001 マネジメントシステム登録証

発行日 2013年3月21日

登録番号  
JSAQ 1152


登録業者および所在地  
大信鋼業株式会社  
兵庫県川辺郡猪名川町鎌倉南山4番の1

製造場所：猪名川工場  
兵庫県川辺郡猪名川町鎌倉南山4番の1


審査の結果、貴組織の品質マネジメントシステムが、  
JIS Q 9001:2008、ISO 9001:2008 に  
適合していることを確認しましたので、登録します。

登録条件  
ISO 9001 マネジメントシステム登録証付属書 JSAQ 1152-6 による。

登録日	更新日	有効期限
2001年5月16日	2013年5月16日	2016年5月15日



一般財団法人 日本規格協会  
審査登録事業部理事  
田中正躬





審査登録事業部理事  
森住光男

連絡先：一般財団法人 日本規格協会 審査登録事業部 東京都港区赤坂四丁目9番9号 Tel: 03-6757-1285 Fax: 03-6757-1294

### ISO 9001 マネジメントシステム登録証付属書

発行日 2013年3月21日

付属書番号  
JSAQ 1152-6

登録業者名  
大信鋼業株式会社


貴組織の登録条件は下記の通りです。

適用規格  
JIS Q 9001:2008、ISO 9001:2008  
適用除外： 7.3 設計・開発

登録範囲  
エキスバンドメタル、プラス、波形ラス、ワイドラス及び特殊ラスの製造

登録経緯		
登録日	更新日	改定日
2001年5月16日	2013年5月16日	2013年3月5日

その他  
マネジメントシステム登録維持管理遵守事項に従うこと。  
登録場所の詳細情報は品質マネジメントシステム登録情報による。



一般財団法人 日本規格協会  
QMS 判定委員会 委員長  
依田隆一郎



連絡先：一般財団法人 日本規格協会 審査登録事業部 東京都港区赤坂四丁目9番9号 Tel: 03-6757-1285 Fax: 03-6757-1294



# 大信鋼業株式会社

〒666-0202 兵庫県川辺郡猪名川町鎌倉南山4番の1  
電話(072)734-0881(代) FAX(072)734-0474

